



「3つの合言葉」元気・学び・会話

町の子供は町で育てる

滑川町教育委員会だより

「学んでよかった町へ -チーム滑川での教育-」

教育は共育ち(ともそだち)

友に育てられる

この仲間と
一緒に時間を過ごすとき
私はおしゃべりになる。

この場所にくると
なんだか緊張して
思っていることの半分しかいえない。

おかしいな、同じ自分のはずなのに。
私たちは個で存在しているのではなく
いつも影響し合っている。

その時の仲間の機嫌や
場の広さや空気や
話しあっているテーマや
そんなものによって
自分自身も変化していく。

どんな場所でもどんな人たちと
共にいるのが大切だ。

加藤朝嵐、超訳 般若心経「何もな
い」幸せに気づく、リベラル文庫、2
021、168p、169p

教ふるは 学ぶの 半ばなり

書経 説命下

わたしは、自分が「子育て」をするよ
うになって、「親」のことがすこしだ
け好きになりました。いまでは自分の
の子どものように感じます。

最近では「子育て」ということばも
上から目線を感じてあまり使いたいと
思いません。親も子どもも共に育つ、
という意味で「共育ち」なんてどうで
しょう。

高橋源一郎、人生相談、毎日新聞、2
023、9、23

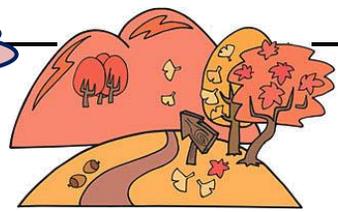
「自己有用感」という言葉があります。同じような使われ方をする言葉に「自尊感情」があります。英語のSelf Esteemの訳語である「自尊感情」が飽くまでも自分に対する自己評価であるのに対して、「自己有用感」は、人の役に立った、他人に喜んでもらった、…等、他者との関係の中で生まれてくるものです。私は、校長時代、教職員に対して「自己有用感」を高める指導・支援を求めてきました。自己有用感が「生きる力」の中核であると考えたからです。

9月18日(水)、福田小学校で、授業力向上のための学校指導訪問が実施されました。あすなろ学級の堀深雪先生は、児童2名と「すてきな自分 大はっけん」を主題に自立活動の授業を公開しました。授業の目標は「自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分ができるようになったことや役割が増えたことが分かる」「一人一人が自分のよいところに気付くことで、自分に対する誇りを持ち、自分を価値ある存在として肯定的に認め、受け入れることができるようにする」であり、自己有用感を高めることを狙ったものでした。授業の中で二人の児童は「すてきな自分」を見つけていきます。堀先生は、1学期までの行事や日常生活の写真を個別に提示し、「がんばっていること」や「できるようになったこと」を見つけれられるように工夫しました。子供たちは「すてきな自分」を少しずつ発見していきます。堀先生は、続けて同じクラス(交流学級)のお友達が思い思いに書いてくれた「〇〇さんのすてき」を提示しました。その時、授業はクライマックスを迎えました。クラスのお友達が自分の良さを認めてくれていることを知って、一人は「やったー！」と喜びを爆発させました。そしてもう一人の児童は、「みんながこんなにも思ってくれたなんて…」とうれし涙を流したのでした。児童の様子を見ていた堀先生と学習生活支援員の細川さんも感激して目に涙を浮かべていました。このあと、二人のお家の方からも「〇〇さんのすてき」が寄せられ、感動のシーンが再現されたのでした。授業は大成功でした。

この授業を参観して、日頃から失敗を恐れず様々なことに挑戦し、そのことをお互いに認め励まし合う子供達の姿をはっきりと見ることができました。子供達は、友と共に育つ関係にあるのです。このことは、子供と子供の関係のみに止まりません。教師と子供、そして、親と子供の間にも「共育ち」という考え方が当てはまると思うのです。

「子育てや教育は、共育である」この視点を持つことで、多くの人に幸せが訪れるのではないでしょう

図書館からのお知らせ！



比企eライブラリ「秋の読書まつり」

比企eライブラリを広域展開している7市町で「秋の読書まつり」を開催します。
7市町、どこでもご参加いただけます。ぜひ、お出かけの機会にしてみてください。

期間：10月19日（土）～11月30日（土）

*開催日、内容等はそれぞれの自治体で異なります。HP等でご確認ください。

「秋の読書まつり in 滑川町」

○電子図書館操作説明会 一般の方対象 定員10名（要予約）

電子書籍の利用方法をわかりやすくご説明いたします。

10月30日（水）10：30～ 滑川図書館 2階視聴覚室

○電子絵本を使ったおはなし会 お子さんと保護者対象（年齢制限なし）

電子絵本を活用した楽しいおはなし会です。（予約不要）

11月30日（土）11：00～滑川図書館 1階児童書コーナー



図書館まつり

滑川図書館では、恒例の図書館まつりを11月3日（日）に開催します。秋の一日を図書館で過ごしてみませんか。内容は次のとおりです。

○古本市 10:00～16:00 図書館入り口 無料で一人10冊までお持ち帰りできます。

*持ち帰り用の袋等をお持ちください。

○おはなし会 ①11:00～ ②14:00～ 1階児童書コーナー

*年齢制限はありません。予約は不要ですので、大勢の方のご参加をお待ちしています。

「滑川町の城館跡」 part 4

羽尾城跡（羽尾館跡） 戦国時代

羽尾城跡は、羽尾館跡とも言われ、『新編武蔵風土記稿』には、「上田案独斎ガ家人、山崎若狭守ガ住セシ所ト云フ」という記述があり、松山城主上田氏の家人山崎若狭守居城であったとされています。また、山崎若狭守を始めとした羽尾七騎と呼ばれる地侍の集団が詰めていたとも言われ、七騎は羽尾の地を開発した人々とも言われています。この城の歴史については、資料が乏しく詳細は不明です。

城跡は、主に台地上に南側が少し広くなる、1辺100～150m程度の平場と南側斜面の一部を削平して造成したと見られる南北30m程度、東西100m程度の小さな平場などの郭が見られます。城の北側は、土塁と空堀が残っており、堀は深さ約1mで東西方向に約100mに渡ってほぼまっすぐ掘られており、高さ1m程度の土塁も見られます。

天正18年の豊臣秀吉の北条小田原攻めに伴い落城したとされています。空堀や土塁が各所に残る戦国期の城として埼玉県選定重要遺跡になっています。



羽尾城跡北側からの遠景



羽尾城跡北側の土塁と空堀